

## 02 乳癌

※ レジメン名称を [クリック](#)または [Ctrl +クリック](#)してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、[“現在のページを印刷する”](#)を選んでください。

	分類	コード	レジメン名称	備考
1	共通	02002-3A	<a href="#">EC75(アロキシ)</a>	
2	共通	02002-4A	<a href="#">EC100(アロキシ)</a>	
3	共通	02003-1A	<a href="#">Doc75</a>	
4	共通	02005-1A	<a href="#">Doc75+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回)</a>	
5	共通	02005-2A	<a href="#">Doc75+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q以降)</a>	
6	共通	02006-2A	<a href="#">Pacli w 療法(2週目)(入院)</a>	
7	共通	02006-3A	<a href="#">Pacli w 療法(3週目)(入院)</a>	
8	共通	02006-5A	<a href="#">Pacli w 療法(2週目)(外来)</a>	
9	共通	02006-6A	<a href="#">Pacli w 療法(3週目)(外来)</a>	
10	共通	02006-7A	<a href="#">Pacli w 療法(1週目)(入院)</a>	
11	共通	02006-8A	<a href="#">Pacli w 療法(1週目)(外来)</a>	
12	共通	02007-1A	<a href="#">Pacli w 療法(1週目)(入院)+トラスツズマブ(4mg)</a>	
13	共通	02007-2A	<a href="#">Pacli w 療法(2週目)(入院)+トラスツズマブ(2mg)</a>	
14	共通	02007-3A	<a href="#">Pacli w 療法(3週目)(入院)+トラスツズマブ(2mg)</a>	
15	共通	02007-5A	<a href="#">Pacli w 療法(1週目)(外来)+トラスツズマブ(4mg)</a>	H27.7 追加
16	共通	02007-6A	<a href="#">Pacli w 療法(2週目)(外来)+トラスツズマブ(2mg)</a>	
17	共通	02007-7A	<a href="#">Pacli w 療法(3週目)(外来)+トラスツズマブ(2mg)</a>	
18	共通	02008-1A	<a href="#">TC 療法</a>	
19	科別(乳腺)	02009-1B	<a href="#">トラスツズマブ(4mg)(初回)</a>	
20	科別(乳腺)	02009-2B	<a href="#">トラスツズマブ(2mg)(2q以降)</a>	
21	科別(乳腺)	02010-1B	<a href="#">トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回)</a>	
22	科別(乳腺)	02010-2B	<a href="#">トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q以降)</a>	
23	科別(乳腺)	02011-1B	<a href="#">アブラキサン(3w)(乳)</a>	
24	科別(乳腺)	02012-1B	<a href="#">エリブリン(2投1休)</a>	
25	科別(乳腺)	02013-1B	<a href="#">GEM(2投1休)</a>	
26	科別(乳腺)	02015-1B	<a href="#">GEM(2投1休)+トラスツズマブ(8mg)(3w)</a>	
27	科別(乳腺)	02015-2B	<a href="#">GEM(2投1休)+トラスツズマブ(6mg)(3w)</a>	
28	科別(乳腺)	02016-1B	<a href="#">GEM+Pacli(入院用)</a>	
29	科別(乳腺)	02016-2B	<a href="#">GEM+Pacli(外来用)</a>	

## 02 乳癌

※ レジメン名称を [クリック](#)または [Ctrl +クリック](#)してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、“[現在のページを印刷する](#)”を選んでください。

	分類	コード	レジメン名称	備考
30	科別(乳腺)	02017-1B	<a href="#">VNR(2投1休)</a>	
31	科別(乳腺)	02019-1B	<a href="#">VNR(2投1休)+トラスツスマブ(8mg)(3w)(初回)</a>	
32	科別(乳腺)	02019-2B	<a href="#">VNR(2投1休)+トラスツスマブ(6mg)(3w)(2q以降)</a>	
33	科別(乳腺)	02020-1B	<a href="#">Avastin(1/2w)+Pacli(3投1休)(入院)</a>	
34	科別(乳腺)	02020-2B	<a href="#">Avastin(1/2w)+Pacli(3投1休)(外来)</a>	
35	科別(乳腺)	02021-1B	<a href="#">CMF(original)(入院用)</a>	
36	科別(乳腺)	02021-2B	<a href="#">CMF(original)(外来用)</a>	
37	科別(乳腺)	02022-1B	<a href="#">CMF(modified)</a>	
38	科別(乳腺)	02023-1B	<a href="#">CPT-11 original(3投2休)</a>	
39	共通	02024-1A	<a href="#">Doc75+ヘルツスマブ+トラスツスマブ(3w)(初回)</a>	
40	共通	02024-2A	<a href="#">Doc75+ヘルツスマブ+トラスツスマブ(3w)(2q以降)</a>	
41	共通	02027-1A	<a href="#">カドサイラ療法</a>	
42	科別(乳腺)	02028-1B	<a href="#">エリブリン+トラスツスマブ療法(8mg)(3w)初回</a>	
43	科別(乳腺)	02028-2B	<a href="#">エリブリン+トラスツスマブ療法(6mg)(3w)2q以降</a>	
44	共通	02029-1A	<a href="#">Doc+CBDCA+トラスツスマブ(8mg)(3w)(初回)</a>	
45	共通	02029-2A	<a href="#">Doc+CBDCA+トラスツスマブ(6mg)(3w)(2q以降)</a>	
46	共通	02030-1A	<a href="#">ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(初回)(1週目)(入院)</a>	
47	共通	02030-2A	<a href="#">ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(初回)(2週目)(入院)</a>	
48	共通	02030-3A	<a href="#">ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(DEX1.65mg)(入院)</a>	
49	共通	02030-4A	<a href="#">ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(2q以降)(1週目)(入院)</a>	
50	共通	02030-5A	<a href="#">ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(初回)(1週目)(外来)</a>	
51	共通	02030-6A	<a href="#">ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(初回)(2週目)(外来)</a>	
52	共通	02030-7A	<a href="#">ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(DEX1.65mg)(外来)</a>	
53	共通	02030-8A	<a href="#">ヘルツスマブ+トラスツスマブ+Paclitaxel(2q以降)(1週目)(外来)</a>	
54	共通	02031-1A	<a href="#">dose-denseEC療法</a>	
55	共通	02032-1A	<a href="#">TC+トラスツスマブ(8mg)(3w)(初回)</a>	
56	共通	02032-2A	<a href="#">TC+トラスツスマブ(6mg)(3w)(2q以降)</a>	
57	共通	02033-1A	<a href="#">アテゾリズマブ+nab-Paclitaxel療法(初回)</a>	
58	共通	02033-2A	<a href="#">アテゾリズマブ+nab-Paclitaxel療法(2q以降)</a>	

02002	乳 癌	EC	申請科
			外科

H28.10改訂 H29.10改訂 H30.3改訂 H30.9改訂 H31.1改訂 R3.2改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
エピルビシン塩酸塩 (epirubicin)	75又は100mg/m <sup>2</sup>	div.	day1
エンドキサン (cyclophosphamide)	500mg/m <sup>2</sup>	div.	day1

3週毎

術後補助:4-6クール

再発進行癌:耐性まで or エピルビシン 900mg/m<sup>2</sup>まで

化療ベット予約:1時間で登録

Regimen

day1		備考
15分	メイン①生理食塩液 100mL 1B アロキシ注0.75mg 1V デキサート注 6.6mg 1V	<b>【レジメンシステム登録】</b> 02002-1A—EG75 ・EPI 75mg/m <sup>2</sup> 02002-2A—EG100 ・EPI 100mg/m <sup>2</sup> 02002-3A EC75(アロキシ) ・EPI 75mg/m <sup>2</sup> 02002-4A EC100(アロキシ) ・EPI 100mg/m <sup>2</sup> * 02002-3A、4A は H29.10 に追加  ・支持療法はセット処方オーダ アプレピタント 125mg 化学療法前 アプレピタント 80mg day2,3分1 朝食後 テカドロン(0.5)8錠分2 朝・昼 day2~4 ロゼパム(0.5)2錠分2 day1 夕~day4 ハミン 3錠分3 day1 夕~day4
5分	側①生理食塩液 50mL 1B エピルビシン塩酸塩 ( )mg	
30分	側②生理食塩液 250mL 1B エンドキサン注 ( )mg	
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL 1B	

02003	乳 癌	Doc75	申請科
			外科

H.27.7 改訂 H30.3 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケル)
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m <sup>2</sup>	i. v. (1h以上)	day1
3週毎 耐性になるまで			
化療ベット予約:2時間で登録			
Regimen			
30分	<b>day1</b>		
	メイン①生理食塩液 100mL	1B	
	デキサート注 6.6mg	1V	
	グラニセトロン注 1mg	1A	
60分	側①5%ブドウ糖液 250mL	1B	
	ドセタキセル ( )mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL	1B	
<b>備 考</b>			
【レジメンシステム登録】 02003-1A Doc75			

02005	乳 癌	Doc75+トラスツズマブ(3w)	申請科
			外科

H23.5 登録 H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2回目以降30min) ※	day1 3週毎
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m <sup>2</sup>	div. (1h以上)	day1 3週毎

耐性になるまで

化療ベット予約:2時間30分で登録

Regimen

day1		備考
5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため前投薬(側②)は側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液250mLに希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg  <b>【レジメンシステム登録】</b> 02005-1A Doc75+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・トラスツズマブ投与時間 90分で登録 02005-2A Doc75+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q以降) ・トラスツズマブ投与時間 30分で登録
※		
90分	側①生理食塩液 250mL 1B	
or	トラスツズマブ ( )mg	
30分	大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	
30分	側②生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 1V グラニセトロン注 1mg 1A	
60分	側③5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル ( )mg	
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B	

02006	乳 癌	Pacli w 療法	申請科
			外科

H22.5 改訂 H30.9 改訂 H31.1 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パクリタキセル (paclitaxel)	80mg/m <sup>2</sup>	div. (1h).	weekly
12 週連続 耐性になるまで			
(外来)化療ベット予約:2 時間で登録			
Regimen			
内服	パクリタキセル投与 30 分前に レスタミン錠(10) 5錠 内服		
	day1		
5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B		<b>備 考</b> ※デキサート注 初回 6. 6mg 2回目3. 3mg 3回目以降1. 65mg ・側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。 <b>【レジメンシステム登録】</b> <del>02006-1A Pacli w(3 投1 体)(入院) H31.1 削除</del> 02006-2A Pacli w 療法(2 週目)(入院) ・2 週目のみのレジメン。DEX3.3mg 02006-3A Pacli w 療法(3 週目)(入院) ・3 週目のみのレジメン。DEX1.65mg <del>02006-4A Pacli w 療法(3 投1 体)(外来)</del> 02006-5A Pacli w 療法(2 週目)(外来) ・2 週目のみのレジメン。DEX3.3mg 02006-6A Pacli w 療法(3 週目)(外来) ・3 週目のみのレジメン。DEX1.65mg 02006-7A Pacli w 療法(1 週目)(入院) ・1 週目のみのレジメン。DEX6.6mg 02006-8A Pacli w 療法(1 週目)(外来) ・1 週目のみのレジメン。DEX6.6mg  ・(入院)レスタミンはレジメン内の処方に登録 ・(外来)レスタミンは済み処方にて投与
	※デキサート注 ( )mg		
	ファモチジン注 20mg 1V		
30 分	側①生理食塩液 50mL 1B		
60 分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液( )mg		
全開 (5 分)	側③生理食塩液 50mL 1B		

02007

乳 癌

Pacli w 療法+トラスツズマブ

申請科

外科

H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 4mg/Kg 2回目以降 2mg/Kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※1	day1、8、15、22
パクリタキセル (paclitaxel)	80mg/m <sup>2</sup>	div. (1h).	day1、8、15

再発・難治の場合:耐性になるまで

術前術後化学療法の場合:パクリタキセルとトラスツズマブを毎週投与(12 週)

(外来)化療ベット予約:day1,8,15 は 2 時間 30 分、day22 は 1 時間で登録

## Regimen

内服	パクリタキセル投与 30 分前に レスタミン錠(10) 5錠 内服		
5 分 ※1	day1 メイン①生理食塩液 50mL 1B		<ul style="list-style-type: none"> <li>・側②生食はドリップアイを使用し滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与。(また、トラスツズマブと糖液の混合も回避)</li> <li>・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。</li> <li>・蒸留水は体重換算の量で登録 2mg/kg→0.095mL/kg 4mg/kg→0.190mL/kg</li> </ul>
90 分 or 30 分	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		
5 分	メイン②生理食塩液 50mL 1B ※2 デキサート注 ( )mg ファモチジン注 20mg 1V		
30 分	側②生理食塩液 50mL 1B		
60 分	側③5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ( )mg		
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B		
備考	<p>※1 トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。</p> <p>※2 デキサート注 初回6.6mg、2回目3.3mg、3回目1.65mg</p>		
			<p>【レジメンシステム登録】</p> <p>02007-1A Pacli w 療法(1 週目)(入院)+トラスツズマブ(4mg) ・1 週目のみのレジメン。トラスツズマブ 90 分、DEX6.6mg</p> <p>02007-2A Pacli w 療法(2 週目)(入院)+トラスツズマブ(2mg) ・2 週目のみのレジメン。トラスツズマブ 30 分、DEX3.3mg</p> <p>02007-3A Pacli w 療法(3 週目)(入院)+トラスツズマブ(2mg) ・3 週目のみのレジメン。トラスツズマブ 30 分、DEX1.65mg</p> <p>02007-4A Pacli w 療法(3 投 1 休)+トラスツズマブ(2mg)(入院) ・トラスツズマブ 30 分、DEX: day16.6mg、day8 3.3mg、day151.65mg</p> <p>02007-5A Pacli w 療法(1 週目)(外来)+トラスツズマブ(4mg) ・1 週目のみのレジメン。トラスツズマブ 90 分、DEX6.6mg</p> <p>02007-6A Pacli w 療法(2 週目)(外来)+トラスツズマブ(2mg) ・2 週目のみのレジメン。トラスツズマブ 30 分、DEX3.3mg</p> <p>02007-7A Pacli w 療法(3 週目)(外来)+トラスツズマブ(2mg) ・3 週目のみのレジメン。トラスツズマブ 30 分、DEX1.65mg</p> <p>02007-8A Pacli w 療法(3 投 1 休)+トラスツズマブ(2mg)(外来) ・トラスツズマブ 30 分、DEX: day16.6mg、day8 3.3mg、day151.65mg</p> <p>・(入院)レスタミンはレジメン内の処方に登録 ・(外来)レスタミンは済み処方にて投与</p>

02008	乳 癌	TC療法	申請科
			外科

H21.8 承認 H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.2 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケル)
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m <sup>2</sup>	i. v. (1h以上)	day1
エンドキサン (cyclophosphamide)	600mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1
<b>3週毎</b> <b>6回(標準4回)</b>			
<span style="color: red;">化療ベット予約:2時間30分で登録</span>			
Regimen			
	<b>day1</b>		
30分	メイン①生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 2B グラニセトロン注1mg 1A		
60分	側①5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル ( )mg		
30分	側②生理食塩液 250mL 1B エンドキサン ( )mg		
全開 (5分)	側③生理食塩液 50ml 1B		
備 考			
<b>【レジメンシステム登録】</b> 02008-1A TC療法			



02009	乳 癌	トラスツズマブ	申請科
			外科

H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 4mg/kg 2回目以降 2mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※	weekly(休薬なし)

耐性になるまで

化療ベット予約:1時間で登録

Regimen

Regimen		備考
5分 ※	<p><b>Weekly day1</b></p> <p>メイン①生理食塩液50mL 1B</p>	<p>※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。</p> <p>・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液250mLに希釈する。</p> <p>・蒸留水は体重換算の量で登録 2mg/kg→0.095mL/kg 4mg/kg→0.190mL/kg</p> <p><b>【レジメンシステム登録】</b></p> <p>02009-1B トラスツズマブ(4mg)(初回) ・トラスツズマブ投与時間 90分で登録</p> <p>02009-2B トラスツズマブ(2mg)(2q以降) ・トラスツズマブ投与時間 30分で登録</p>
90分 or	<p>側①生理食塩液 250mL 1B</p> <p>トラスツズマブ ( )mg</p> <p>大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)</p>	
30分		
全開 (5分)	<p>側②生理食塩液50mL 1B</p>	

02010	乳 癌	トラスツズマブ(3w)	申請科
			外科

平成 23 年 5 月登録 H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬 品 名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg	div (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※	Day1
3週毎			
化療ベット予約:1時間で登録			
Regimen			
	<b>day1</b>		
5分 ※	メイン①生理食塩液50mL 1B		<b>備 考</b> ※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/k <b>【レジメンシステム登録】</b> 02010-1B トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・トラスツズマブ投与時間 90 分で登録 02010-2B トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降) ・トラスツズマブ投与時間 30 分で登録
90分 or 30分	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		
全開 (5分)	側②生理食塩液50mL 1B		

02011	乳癌	アブラキサン(3w) (乳)	申請科
			外科

平成22年11月承認 H23.7月改訂 H30.9改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
アブラキサン (Paclitaxelアルブミン 懸濁型)	260mg/m <sup>2</sup>	div(30分)	Day1

3週毎

効果なくなるまで

化療ベット予約:1時間で登録

Regimen

5分	day1 メイン①生理食塩液 50mL 1B		
30分	側①生理食塩液 ( ) mL ※アブラキサン ( )mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B  ※アブラキサン 100mg(1V)あたり生理食塩液 20mLで溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量(mL) = $\frac{260\text{mg/m}^2 \times \text{体表面積}}{100\text{mg}} \times 20\text{mL}$		
		備 考	
		<p>※アブラキサン注は特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。</p> <p>・投与時、インラインフィルターは使用しない。</p> <p>【レジメンシステム登録】 02011-1B アブラキサン(3w) (乳)</p>	

02012	乳癌	エリブリン(2投1休)	申請科
			外科

H23.8 承認、H25.3 改訂(DEX 追加) H30.9 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ハラヴェン静注 (エリブリンメシル酸塩)	1. 4mg/m <sup>2</sup>	div(2~5分)	Day1、8

3週毎

効果なくなるまで

化療ベット予約:30分で登録

Regimen

	<b>day1、8</b>		
5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B デキサート注 6.6mg 1V		
5分	側①生理食塩液 50 mL 1B ハラヴェン静注 ( )mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		
<b>備 考</b>			
<b>【レジメンシステム登録】</b> 02012-1B エリブリン(2投1休) ・投与時間5分で登録			

02013	乳癌	GEM(2投1休)	申請科
			外科

平成 22 年 5 月承認 H28.9 改訂 H29.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1250mg/m <sup>2</sup>	div(30分)	Day1、8 2投1休
2投1休 3週毎 効果なくなるまで			
化療ベット予約:1時間30分で登録			
Regimen			
	<b>day1、8</b> メイン①生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 1V グラニセトロン注1mg 1A		
30分	側①5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		
<b>備 考</b>			
<b>【レジメンシステム登録】</b> 02013-1B GEM(2投1休)			

02015	乳癌	GEM(2投1休)+トラスツズマブ(3w)	申請科
			外科

H23.5 登録 H27.7 改訂 H28.9 改訂 H29.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケル)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg	div 初回 90min以上 2回目以降 30min※	Day1
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1250mg/m <sup>2</sup>	div(30分)	Day1、8 2投1休
3週毎 効果なくなるまで			
化療ベット予約: day1 は 2 時間、day8 は 1 時間 30 分で登録			
Regimen			
	<b>day1</b>		<b>day8</b>
5分 ※	メイン①生理食塩液 50mL 1B	30分	メイン①生理食塩液 100mL 1B
90分 or	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ( )mg		デキサート注 6.6mg 1V
30分	大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解 しています)	30分	グラニセトロン注 1mg 1A
30分	側②生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 1V グラニセトロン注 1mg 1A	全開 (5分)	側①5%ブドウ糖 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg
30分	側③5%ブドウ糖 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg		側②生理食塩液 50mL 1B
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B		
<b>備 考</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。</li> <li>・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg</li> </ul>			
<b>【レジメンシステム登録】</b>			
02015-1B GEM(2投1休)+トラスツズマブ(8mg)(3w)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回ケル用</li> <li>・トラスツズマブ投与時間 90分で登録</li> </ul>			
02015-2B GEM(2投1休)+トラスツズマブ(6mg)(3w)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2ケル目以降用</li> <li>・トラスツズマブ投与時間 30分で登録</li> <li>・2018年6月委員会にて投与順序変更を承認</li> <li>GEM→トラスツズマブからトラスツズマブ→GEMへ変更</li> </ul>			
<b>備 考</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。</li> <li>・トラスツズマブと糖液は混合不可のため day1 の前投薬(側②)は側管から投与。</li> </ul>			

02016	乳 癌	GEM+Pacli 療法	申請科
			外科

平成22年5月承認、平成26年3月改訂 H28.9 改訂 H29.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パクリタキセル (paclitaxel)	175mg/m <sup>2</sup>	div. (180分).	Day1
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1250mg/m <sup>2</sup>	div(30分)	Day1、8

耐性になるまで、3週毎 (外来)化療ベット予約: day1 は 4 時間 30 分、day8 は 1 時間で登録

Regimen

	パクリタキセル投与 30 分前に レスタミン錠(10) 5錠 内服		<b>day8</b>		
15分	メイン①生理食塩液 50mL 1B グラニセトロン注 1mg 1A デキサート注 6.6mg 3V ファモチジン注20mg 1V	15分	メイン①生理食塩液 50mL 1B グラニセトロン注 1mg 1A デキサート注 6.6mg 1V		
30分	側①生理食塩液 100mL 1B	30分	側①5%ブドウ糖 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg		
180分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ( )mg	全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		
30分	側③5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg			<b>備 考</b>	
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B			<ul style="list-style-type: none"> <li>・側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。</li> </ul> <p><b>【レジメンシステム登録】</b></p> <p>02016-1B GEM+Pacli (入院用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レスタミンはレジメン内の処方に登録</li> </ul> <p>02016-2B GEM+Pacli (外来用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レスタミンは済み処方にて投与</li> </ul>	

02017	乳 癌	VNR(2 投 1 休)	申請科
			外科

H.27.7 改訂 H30.9 改訂 科別(乳腺)

薬 品 名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ナベルビン (vinorelbine)	25mg/m <sup>2</sup>	i.v.	day1, 8
<b>3週毎</b> <b>効果なくなるまで</b>			
化療ベット予約:1時間で登録			
<b>Regimen</b>			
	<b>day1、8</b>		
全開 (5分)	メイン①生理食塩液 50mL	1B	
全開 (5分)	側①生理食塩液 50mL ナベルビン ( )mg	1B	
30分	側②生理食塩液 250mL デキサート注 6.6mg	1B 2V	
	ポート①生理食塩液 20mL	1本 フラッシュ	
<b>備 考</b>			
・WBC2000 未満の時は投与延期。 <b>【レジメンシステム登録】</b> 02017-1B VNR(2 投 1 休)			



02019	乳 癌	VNR(2 投 1 休)+トラスツズマブ	申請科
		(3w)	外科

H23.5 登録 H27.7改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30 min) ※	Day1
ナベルビン (vinorelbine)	25mg/m <sup>2</sup>	i.v.	Day1, 8

3週毎

耐性になるまで

化療ベット予約: day1 は 1 時間 30 分、day8 は 1 時間で登録

Regimen

day1		day8	
5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B
※		5 分	側①生理食塩液 50mL 1B
90 分	側①生理食塩液 250mL 1B		ナベルビン ( )mg
or	トラスツズマブ ( )mg	30 分	側②生理食塩液 250mL 1B
30 分	大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		デキサート注 6.6mg 2V
			ポート①生理食塩液 20mL 1本 フラッシュ
<b>備 考</b>			
5 分		側②生理食塩液 50mL 1B	
		ナベルビン ( )mg	
30 分		側③生理食塩液 250mL 1B	
		デキサート注 6.6mg 2V	
		ポート①生理食塩液 20mL 1本 フラッシュ	
<p>・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。</p> <p>・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/k</p> <p>【レジメンシステム登録】 02019-1B VNR(2 投 1 休)+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・初回クール用 ・トラスツズマブ投与時間 90 分で登録</p> <p>02019-2B VNR(2 投 1 休)+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降) ・2クール目以降用 ・トラスツズマブ投与時間 30 分で登録</p>			
<b>備 考</b>			
※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。			

02020	乳 癌	Avastin(1/2w)+Pacli(3 投 1 休)	申請科
			外科

H23.11 承認 H30.9 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パクリタキセル (paclitaxel) アバスタチン (Bevacizumab)	90mg/m <sup>2</sup>  10mg/kg	div. (1h).  div.(初回 90 分、2 回 目 60 分、以後 30 分; 忍容性見ながら)	day1、8、15 3投1休 day1、15
4週毎 耐性になるまで (外来)化療ベット予約:day1,15 は 3 時間、day8 は 2 時間で登録			
Regimen			
<b>day1、15</b>		<b>day8</b>	
内服	パクリタキセル投与 30 分前に レスタミン錠(10) 5錠 内服	内服	パクリタキセル投与 30 分前に レスタミン錠(10) 5錠 内服
5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B ※1 <u>デキサート注</u> ( )mg ファモチジン注 20mg 1V	5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B ※1 <u>デキサート注</u> ( )mg ファモチジン注 20mg 1V
30分	側①生理食塩液 50mL 1B	30分	側①生理食塩液 50mL 1B
60分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液( )mg	60分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液( )mg
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL 1B	全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL 1B
※2		<b>備 考</b>	
90分	側④生理食塩液 100mL 1B	※1 <u>デキサート注</u> 1週目6. 6mg、2週目3. 3mg、3週目1. 65mg	
60分	アバスタチン ( )mg	※2 アバスタチンの投与時間;初回は 90 分かけて 点滴静注し、忍容性を見ながら、2 回目 60 分、以後 30 分とする。	
30分		・初回は入院のうえ、モニターを装着して行う。 ・側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与。	
全開 (5分)	側⑤生理食塩液 50mL 1B	<b>【レジメンシステム登録】</b> 02020-1B Avastin(1/2w)+Pacli(3 投 1 休)(入院) ・アバスタチン投与時間 day1・15 とともに 90 分で登録 ・レスタミンはレジメン内の処方に登録 02020-2B Avastin(1/2w)+Pacli(3 投 1 休)(外来) ・アバスタチン投与時間 day1・15 とともに 90 分で登録 ・レスタミンは済み処方にて投与	

02021	乳 癌	CMF (original)	申請科
			外科

H28.6 改訂 H30.9 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
エンドキサン (cyclophosphamide)	100mg/body	p. o.	day1~14
メソトレキセート (methotrexate)	40mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1, 8
フルオロウラシル (5-FU)	500mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1, 8

4週毎

術後補助:6クール

再発進行癌:耐性まで

(外来)化療ベット予約:30分で登録

Regimen

内服	<b>day1~14</b>			
	エンドキサン錠(50) 2錠 分2朝・夕食後 14日分			
	<b>day1, 8</b>			
	全開 (5分)	メイン①生理食塩液 50mL	1B	
全開 (5分)	側①生理食塩液 50mL メソトレキセート ( )mg	1B		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL フルオロウラシル注 ( )mg	1B		
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL	1B		
<b>備 考</b>				
<b>【レジメンシステム登録】</b>				
02021-1B CMF(original)(入院用) ・エンドキサンはレジメン内の処方に登録				
02021-2B CMF(original)(外来用) ・エンドキサンは実施日に処方オーダー				

02022	乳 癌	CMF (modified)	申請科
			外科

H28.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.2 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
エンドキサン (cyclophosphamide)	500mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1, 8
メソトレキセート (methotrexate)	40mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1, 8
フルオロウラシル (5-FU)	500mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1, 8

4週毎

術後補助:6クール

再発進行癌:耐性まで

化療ベット予約:1時間 30分で登録

Regimen

<b>day1, 8</b>			
全開 (5分)	メイン①生理食塩液 50mL グラニセトロン注1mg	1B 1A	
20分	側①生理食塩液 50mL メソトレキセート ( )mg	1B	
30分	側②生理食塩液 250mL エンドキサン注 ( )mg	1B	
<b>備 考</b>			
20分	側③生理食塩液 50mL フルオロウラシル注 ( )mg	1B	<b>【レジメンシステム登録】</b> 02022-1B CMF(modified)
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL	1B	

02023	乳 癌	CPT-11 original(3投2休)	申請科
			外科

H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
イリノテカン塩酸塩 (irinotecan)	80~100mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1・8・15 3投2休
<b>3投2休</b> <b>5週間毎</b> <b>耐性になるまで</b>			
<span style="color: red;">化療ベット予約: 2時間 30分で登録</span>			
<b>Regimen</b>			
30分	メイン①生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 1V グラニセトロン注1mg 1A		
90分	側①5%ブドウ糖液 500mL 1B イリノテカン塩酸塩 ( )mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		
<b>備 考</b>			
<b>【レジメンシステム登録】</b> 02023-1B CPT-11 original(3投2休) ・CPT-11 100mg/m <sup>2</sup> で入力登録			

02024	乳 癌	Doc75+ペルツズマブ+トラスツズマブ (3w)	申請科
			外科

H25.10 登録 H27. 7 改訂 H30. 9 改訂 R2. 6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パージェタ (Pertuzumab)	初回 840mg 2回目以降 420mg	div. (初回60min 以上) (2回目以降30min)※	day1
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2回目以降30min)※	day1
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m <sup>2</sup>	div. (1h以上)	day1

3週毎 耐性になるまで

パージェタ、トラスツズマブ投与終了後には経過観察の時間を持ち、Infusion reaction 症状があらわれないことを確認し、次の薬剤を投与して下さい。  
化療ベット予約: 3時間で登録

**Regimen**

day1		備考
5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	※パージェタ・トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため前投薬(側③)は側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg  <b>【レジメンシステム登録】</b> 02024-1A Doc75+Perjeta+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・Perjeta 投与時間 60分 で入力 ・トラスツズマブ投与時間 90分 で入力 02024-2A Doc75+Perjeta+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降) ・Perjeta 投与時間 30分 で入力 ・トラスツズマブ投与時間 30分 で入力
※		
60分	側①パージェタ ( )mg 1B	
or	生理食塩液 250mL 1B	
30分		
90分	側②トラスツズマブ ( )mg 1B	
or	生理食塩液 250mL 1B	
30分	大塚蒸留水 100mL 1B (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	
30分	側③生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 1V グラニセトロン注1mg 1A	
60分	側④5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル注 ( )mg	
全開 (5分)	側⑤生理食塩液 50mL 1B	

02027	乳 癌	カドサイラ療法	申請科
			外科

H26.5 登録、H28.9 改訂 H30.9 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケル)
カドサイラ (trastuzumab emtansine)	3.6mg/kg	div. (初回90min以上) (2回目以降30min) ※	day1
3週毎			化療ベット予約:1時間で登録
Regimen			
	<b>day1</b> 全開 (5分) ※ 90分 or 30分 5分		側①生理食塩液 50mL 1B 側①生理食塩液 250mL 1B カドサイラ ( )mg 側②生理食塩液 50mL 1B
備 考			
※カドサイラは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。  <b>【レジメンシステム登録】</b> 02027-1A カドサイラ療法 ・カドサイラ投与時間 90分で登録			

02028	乳癌	エリブリン+トラスツズマブ療法	申請科
			外科

H26.8 承認 H.27.7改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

H 薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2回目以降30min) ※	Day1
ハラヴェン静注 (エリブリンメシル酸塩)	1. 4mg/m <sup>2</sup>	div(2~5分)	Day1、8

3週毎6サイクル(効果のある限り)

化療ベット予約: day1は1時間、day8は30分で登録

Regimen

<b>day1</b>			
5分	メイン①生理食塩液 50mL	1B	
※			
90分	側①生理食塩液 250mL	1B	
or	トラスツズマブ ( )mg		<b>備 考</b>
30分	大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		
5分	メイン②生理食塩液 50mL	1B	※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・エリブリン+トラスツズマブ療法終了後はトラスツズマブ療法(3w)を行う場合あり ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mLに希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg
	デキサート注 6.6mg	1V	
5分	側②生理食塩液 50 mL	1B	
	ハラヴェン静注 ( )mg		
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL	1B	<b>【レジメンシステム登録】</b> 02028-1B エリブリン+トラスツズマブ療法(8mg)(3w)初回 02028-2B エリブリン+トラスツズマブ療法(6mg)(3w)2q以降
<b>day8</b>			
5分	メイン①生理食塩液 50mL	1B	・Halaven 投与時間 5分で登録 ・トラスツズマブ投与時間 初回は90分、2q以降は30分で登録
	デキサート注 6.6mg	1V	
5分	側①生理食塩液 50 mL	1B	
	ハラヴェン静注 ( )mg		
5分	側②生理食塩液 50mL	1B	



02029	乳 癌	Doc+CBDCA+トラスツズマブ (3W)療法	申請科
			外科

平成 26.9 登録 H.27.7改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※	day1
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m <sup>2</sup>	div. (60min)	day1
カルボプラチン (carboplatin)	AUC=6	div. (30~60min)	day1

3週毎

化療ベット予約:3時間30分で登録

Regimen

day1				備 考
5分	メイン①生理食塩液 50mL	1B		※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため day1 の前投薬(側②)は側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg <b>【レジメンシステム登録】</b> ・カルボプラチンは 60 分で登録 ・トラスツズマブ投与時間 02029-1A Doc+CBDCA+トラスツズマブ(3W)(8mg)(初回) 90 分で登録 02029-2A Doc+CBDCA+トラスツズマブ(3W)(6mg)(2q 以降) 30 分で登録 ・2018 年 6 月委員会にて投与順序変更を承認 DTX→CBDCA→トラスツズマブから トラスツズマブ→DTX→CBDCA に変更 (乳癌診療ガイドライン参照)
※				
90分	側①生理食塩液 250mL	1B		
30分	トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)			
30分	側②生理食塩液 100mL デキサート注 6.6mg グラニセトロン注 1mg	1B 2V 1A		
60分	側③5%ブドウ糖液 250mL ドセタキセル ( )mg	1B		
30~60分	側④5%ブドウ糖液 250mL カルボプラチン ( )mg	1B		
全開(5分)	側⑤生理食塩液50mL	1B		

02030

乳 癌

ペルツズマブ+トラスツズマブ  
+Paclitaxel

申請科

外科

H27.2 登録、H27.7 改訂、H28.9 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂

H 薬 品 名	1 回 投 与 量	投 与 経 路・時 間	投 与 方 法 (1 ケ ー ル)
パージェタ (Pertuzumab)	初回 840mg 2回目以降 420mg	div. (初回60min 以上) (2 回目以降30min)※1	day1
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min)※1	day1
パクリタキセル (Paclitaxel)	80mg/m <sup>2</sup>	div. (60分)	day1、8、15

3週毎、耐性になるまで

パージェタ、トラスツズマブ投与終了後には経過観察の時間を持ち、Infusion reaction 症状があらわれていないことを確認し、次の薬剤を投与して下さい。

(外来)化療ベット予約: day1 は 3 時間 30 分、day8,15 は 2 時間で登録

## Regimen

内服	day1・8・15	備 考
	パクリタキセル投与 30 分前に レスタミン錠(10) 5錠 内服	※1 パージェタ・トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分まで短縮できる。2 回目以降は 30 分で登録
点滴	day1	※2 デキサート注
5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	初回6. 6mg、2回目3. 3mg、3回目1. 65mg
60 分	側①生理食塩液 250mL 1B	・day8・15 側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与。
※1	パージェタ ( )mg	・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。
90 分	側②生理食塩液 250mL 1B	・蒸留水は体重換算の量で登録
※1	トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解して います)	6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg
5 分	メイン②生理食塩液 50mL 1B	【レジメンシステム登録】
	※2 デキサート注 ( )mg	02030-1A Perjeta+トラスツズマブ+Paclitaxel(←以下 PHP)
30 分	ファモチジン注 20mg 1V	(初回)(1週目)(入院)・DEX6.6mg
60 分	側③生理食塩液 50mL 1B	02030-2A PHP(初回)(2 週目)(入院) DEX3.3mg
	側④5%ブドウ糖液 250mL 1B	02030-3A PHP (DEX1.65mg)(入院)
全開	パクリタキセル点滴静注液 ( )mg	・初回の 3 週目及び 2q の 2 週目以降用
(5 分)	側⑤生理食塩液 50mL 1B	02030-4A PHP(2q 以降)(1 週目)(入院) DEX1.65mg
	day8・15	02030-5A PHP(初回)(1 週目)(外来) DEX6.6mg
5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1V	02030-6A PHP(初回)(2 週目)(外来) DEX3.3mg
	※2 デキサート注 ( )mg	02030-7A PHP (DEX1.65mg)(外来)
	ファモチジン注 20mg 1V	・初回の 3 週目及び 2q の 2 週目以降用
30 分	側①生理食塩液 50mL 1B	02030-8A PHP(2q 以降)(1 週目)(外来) DEX1.65mg
60 分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B	・(入院)レスタミンはレジメン内の処方に登録
	パクリタキセル点滴静注液 ( )mg	・(外来)レスタミンは済み処方にて投与
全開	側③生理食塩液 50mL 1B	
(5 分)		

02031	乳 癌	dose-denseEC 療法	申請科
			外科

H28.10 承認 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.2 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
エピルビシン塩酸塩 (epirubicin)	90mg/m <sup>2</sup>	div.	day1
エンドキサン (cyclophosphamide)	600mg/m <sup>2</sup>	div.	day1
ジーラスタ皮下注 (Pegfilgrastim)	3.6mg	皮下	化学療法終了 24~72 時間後
<b>2 週毎</b> 術前・術後 4クール エピルビシン 900mg/m <sup>2</sup> まで 引き続きパクリタキセル療法を行うこともあり			
			<b>化療ベット予約：1時間で登録</b>
<b>Regimen</b>			
15分	<b>day1</b> メイン①生理食塩液 100mL 1B グラニセトロン注 1mg 1A デキサート注 6.6mg 1V		<b>備 考</b> <b>【レジメンシステム登録】</b> 02031-1A dose-denseEC 療法 ・支持療法はセット処方オーダ アプレピタント 125mg 化学療法前 アプレピタント 80mg day2,3分1朝食後 デキサロン(0.5)8錠分2朝・昼 day2~4 ロゼパム(0.5)2錠分2 day1 夕~day4 ノミン3錠分3 day1 夕~day4 ・ペグフィルグラスチムの投与日はday2で登録 抗がん剤投与終了後、24時間以降3日後くらい(day2~4)までに皮下注射する。
5分	側①生理食塩液 50mL 1B エピルビシン塩酸塩 ( )mg		
30分	側②生理食塩液 250mL 1B エンドキサン注 ( )mg		
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL 1B		
皮下	<b>day2~4のうちに1回投与</b> ジーラスタ皮下注 3.6mg 1本		

02032

乳 癌

TC+トラスツズマブ(3w)

申請科

乳腺外科

H30.6 登録 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.2 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※	day1
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m <sup>2</sup>	div. (1h 以上)	day1
エンドキサン (cyclophosphamide)	600mg/m <sup>2</sup>	div. (15min 以上)	day1
3週毎 4クール			
化療ベット予約: day1 は 3 時間で登録			
Regimen			
5分 ※	day1 メイン①生理食塩液50mL 1B		<b>備 考</b> ※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため day1 の前投薬(側②)は側管から投与。 ・TC+トラスツズマブ(3w)療法終了後はトラスツズマブ療法(3w)を計1年間になるように施行 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液250mLに希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg  <b>【レジメンシステム登録】</b> 02032-1A TC+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・トラスツズマブ投与時間 90分で登録 02032-2A TC+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q以降) ・トラスツズマブ投与時間 30分で登録
90分 or 30分	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		
30分	側②生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 2V グラニセトロン注 1mg 1A		
60分	側③5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル ( )mg		
30分	側④生理食塩液 250mL 1B エンドキサン注 ( )mg		
全開 (5分)	側⑤生理食塩液50mL 1B		

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02033	共通	乳癌	<a href="#">アテゾリズマブ+nab-Paclitaxel 療法</a>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <b>IV</b> PS; 0 ~ 1 ( まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )		
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クルル数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クルル)	
テセントリク (atezolizumab)	840 mg/body	div (初回 60min) (2回目以降 30min)	Day1,15	
アブラキサン (Paclitaxel アルブミン懸濁型)	100mg/m <sup>2</sup>	div(30min)	Day1,8,15	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4 週毎	化療ベット予約: day1,15 は 2 時間、 day8 は 1 時間で登録		
Radiation 併用 無	1回 Gy ×	日、Total Gy ×	Fr	
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			※アブラキサン 100mg(1V)あたり生理食塩液 20mLで溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量(mL) = $\frac{100\text{mg}/\text{m}^2 \times \text{体表面積}}{100\text{mg}} \times 20\text{mL}$
5分	day1、15 メイン①生理食塩液 50mL 1B			
※ 60分	側①テセントリク 840mg 1V 生理食塩液 250mL 1B			
5分	側②生理食塩液 50mL 1B			
5分	側③(側②終了後、側②と別ルートで) 生理食塩液 50mL 1B			
30分	側④(側③と同一ルートから) 生理食塩液 ( ) mL ※アブラキサン ( )mg			
全開 (5分)	側⑤(側④終了後、側④と同一ルートから) 生理食塩液 50mL 1B			
5分	day8 メイン①生理食塩液 50mL 1B			
30分	側①生理食塩液( )mL アブラキサン( )mg			
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B			
				<b>備考</b> ※テセントリクは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・アブラキサンは特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。 ・基本的に前投薬は行わないが、サイクル1でinfusion reactionが発現した場合、抗ヒスタミン薬や解熱鎮痛剤(アセトアミノフェン)の前投薬を考慮。 ・テセントリクはインラインフィルターを通す必要があるため、アブラキサンとは別ルートで投与すること。 (アブラキサンはフィルターを通さないこと) <b>【レジメンシステム登録】</b> 02033-1A アテゾリズマブ+ nab-Paclitaxel 療法(初回) アテゾリズマブ投与時間 D1 のみ 60分で登録 02033-2A アテゾリズマブ+ nab-Paclitaxel 療法(2q以降) アテゾリズマブ投与時間 30分で登録

